

反語文の“还不是”の意味的特徴について

曹 泰 和

1 はじめに

本稿では反語文としての“还不是”構文について考える。この構文はその構造から考えると、“还+不是…(吗?)”である。“不是…(吗?)”構文自身が反語文であるので、“还”はその反語文の「外」にある。この“还”について、従来では、反語の語気を強める働きをしているという指摘があった。しかし、“这件事，难道不是有人从中挑拨吗?”と“这件事，还不是有人从中挑拨吗?”を比べてみると、“难道”を用いる場合は“就是有人从中挑拨”の意味になり、“还”を用いる場合は“肯定有人从中挑拨”の意味になる。つまり、“还”が“还不是”構文の意味面に貢献しているように思われるのである。

“还”は、反予期のマーカー(counter-expectation markers)であることがすでに指摘されている⁽¹⁾。“还”の反予期のマーカーとしての働きは、“还不是”構文においても機能していると思われる。また、“还”の基本義だと思われる“仍旧”“照样”“返回”といった意味や、程度を表す“还”も、“还不是”構文の意味的特徴の形成に貢献していると考えられる。

本稿は、“还不是”構文において、“还”がいかに関わっているのかを検証し、“还不是”構文の意味的特徴を明らかにするものである。

2 “还不是”構文が持つ反予期(counter-expectation)の特徴

反予期(counter-expectation)の特徴を持っているというのは、“还不是”構文とその他の反語文との大きな違いであると言える。袁毓林(2005)では、反予期を“断言一种跟一般预期相悖的情况。”(予期した状況に反することを断言する。)と定義している。呉(2004)によれば、反予期については、三つのタイプ⁽²⁾があり、それは、1)聞き手の予期に反する。2)話し手の予期に反する。3)ある社会における一般的な認識に反する、の3つである。

“还不是”構文において、反予期の読みがはっきり現れている文脈は次の

ような場合である。

- (1) 我们这些博士硕士，还不是一样没工作。
- (2) 现在生活好了，可他们夫妇还不是一样整天打架。
- (3) 他长大了，还不是一样整天疯疯颠颠的没正经。

(1)(2)(3)では、前文で、“博士硕士”“现在生活好了”“他长大了”といったいわゆる「良い条件」が述べられる。しかし、このような「良い条件」があるにもかかわらず、後文の結果や状況が“没工作”“整天打架”“整天疯疯颠颠的没正经”といった好ましくないものとなっている。予想外(反予期)を表す“还不是”はこのような文脈に用いられている。また、その予期は背景化され、言語化されない場合が多い。しかし、予期は言語化されなくても、含意として解釈される。

上記の例の予期と反予期を具体的に見ると、例(1)は、予期(“意料”)として、博士や修士を終了すれば就職できるはずである。これは一般的な社会的通念によるものと考えられる。この予期のニュアンスが言語化されていなくても含まれていると思われる。反予期は、“还是一样没工作”という予想外(“出乎意料”)のことである。次の例(2)も同じく、予期(“意料”)として、生活が良くなったので、夫婦喧嘩はなくなるはずである。(これは、例(2)の文脈において、話し手の期待としても考えられる。)反予期は、“还是一样整天打架”と、相変わらず夫婦喧嘩をしているという予想外(“出乎意料”)の現状である。例(3)の予期は、彼はもう大人になったのだから、落ち着きがあってもいいはずである。反予期は、“还是一样整天疯疯颠颠的没正经”と、相変わらず落ち着きがなく、まともなこともしないという予想外(“出乎意料”)の現状である。

また、「良い要素があった、にもかかわらず、良い結果にはならなかった。」のような文脈には“无奈/遗憾”(仕方がない・残念)というニュアンスも含まれる場合がある。例えば、話し手が良い結果を期待する時である。

同様に、“出乎意料”(反予期)のことを表す文脈であるが、「良い要素」がないにもかかわらず、「良い結果」になることもある。例えば、次のような場合である。

- (4) 你看人家，没去过私塾，还不是一样考上大学了？
- (5) 你不是说没学历不能当领导吗，你看人家没学历还不是一样当领导吗？
- (6) 你看人家没出过国，还不是照样受领导重视！

予期（“意料”）として、例（4）においては、「大学に受かるには塾に行かなければならない。」であり、例（5）は、「指導者になるためには、学歴がなければならない。」であり、例（6）は、「上司に重用してもらうには、外国に行った経験がなければならない。」である。しかし、事実では、「塾に行かなくても、大学に受かった。」「学歴がなくても、指導者になれた。」「外国に行ったことがなくても、上司に重用された。」という“出乎意料”（反予期）の現状である。これらの例においても、予期は言語化されなくても、含意として含まれている。

例（1、2、3）と逆に、例（4、5、6）は、良い条件がないにもかかわらず、良い結果となっている。例（1、2、3）と例（4、5、6）の共通点は言うまでもなく“出乎意料”を表すところにある。

このように、逆接の意味を表す文脈において、“还不是”構文の意味的特徴は“出乎意料”（反予期）を表し、背景化された予期が含意として解釈される。

少し付け加えるならば、逆接の意味を表す“还”は“上古”の時代にはすでに現れている⁽³⁾。

（7）战国获其功，称为名将；世平能无所施，还入祸门矣。（王充・论衡・定贤）

現代語では、“跟你说你还不信”の“还”は、“却”の意味を表している。この逆接の意味を表す用法はあまり研究されていないようである。一方、予想外を表す“还”はすでに多く研究され、“还”の意味的特徴の一つとして定着している。例えば、“你还真来了。（我以为你不来呢。）”

張平（2003）によれば、“出乎意料”を表す“还”は、逆接の“还”から分化したものと指摘している。

表示前后分句之间在事理逻辑上存在相反关系的“还”，本身就隐含着一种因与事理逻辑相反而易使人感到出乎意料的情态义。（張平（2003）から引用）

すなわち、予想外を表す“还”は逆接を表す“还”から拡張された用法と考えられる。逆接の文脈を表す反語文の“还不是”構文では、“还”が持つ“却、反而、反倒”といった“出乎意料”の意味的特徴が活性化され、構文全体に反予期の意味をもたらしていると考えられる。

3 “还不是” 構文における“仍旧”“照样”の意味的特徴

“还不是” 構文の意味的特徴の一つとして、異なる人、事、事態、状況などを挙げながら、結局はその異なるものが同じである、と話し手によって主張される場合がある。その中では、“还不是” と“一样” の共起が特に目立つ。

(8) “还不是听了那些蛇头欺骗性的宣传，以为美国真的遍地是黄金。他们是不知道，也不相信，别说他们那些偷渡打黑工过日子的了，就是我们这些博士硕士又怎样呢？还不是各人都有一本难念的经吗？” 吴萍插进来说。她为他们的愚昧无知感到愤怒。

(白帆《那方方的博士帽》)

(9) 这辆车，你追了，我没有追。结果还不是一样，咱俩现在都乖乖等在车站上。(毕淑敏《毕淑敏文选》)

(10) 第三个妇人说，羊圈大了好养羊，七个孩子九个孩子还不是一样养，蓬仙你怎么会舍得把她送人？(苏童《苏童文选》)

これらの例を見ると、二つの異なるものが提示されていることが分かる。それは、

(8) 那些偷渡打黑工过日子的(人)——我们这些博士硕士

(9) 你追车——我没追车

(10) 养七个孩子——养九个孩子

そして、話し手はその二つの異なるものが同じであるか、または同じところがあることを主張している。例(8)の共通点は“都有一本难念的经”であり、例(9)は、“都得等下一辆车”であり、例(10)は“养七个孩子九一个孩子是一样。”である。例(8、9、10)を肯定命題で表すと、次のようになる。

(8) ’ 我们博士硕士也一样各人都有一本难念的经。

(9) ’ 你追我没追结果都一样。

(10) ’ 养七个孩子九一个孩子是一样。

話し手は肯定命題でも表せることをなぜ否定疑問文の形式で表しているのか。例文を見てみると、話し手は自分と反対の認識を相手を持っていることを意識していることが分かる。例えば、例(8)において、“以为美国真的遍地是黄金”と思っている人が居るのに対して、話し手は「本当はそんなにいいことばかりではなく、私たちのような博士や修士たちも“难念的经”がある。」と主張している。例(9)において、相手はバスに間に合うように走ったが、

結局走っていない「私」と同じことで「次のバスを待たなければならない」のである。例(10)において、自分の子どもを「養子」として人に預けようとした相手にその行動を止めさせるために発したことばである。子どもが増えると生活が大変になると思っている相手に、子どもを七人育てようが九人育てようが同じではないかと主張する。このように、話し手と聞き手の間で認識のギャップがあつて、話し手はそれを修正しようとしている。これが否定疑問という形式を用いた動機だと思われる。

しかし、反語文を用いる動機は、多くの場合、話し手が自分と反対またはズレのある認識を意識してそれを修正しようとすることにあつたと考えられる。これは反語文において共通する性質だと言えるかもしれない。したがって、上記の例においては、ほかの反語文(例えば“难道不是”構文)ではなく、“还不是”構文を用いた理由を考えなければならない。

上記の例を“难道”に置き換えてみると分かるが、語気が強くなり、相手に強く反駁することになる(例8、10)。また下記の例(9)のような話し手の主張を表す文脈には相応しくないとと思われる。(例(9)の「??」の意味は文の容認度が低いことを表している。)

(8) ‘“别让他们那些偷渡打黑工过日子的了，就是我们这些博士硕士又怎样呢？难道不是各人都有一本难念的经吗？”

(9) ‘??这辆车，你追了，我没有追。结果难道不是一样，咱俩现在都乖乖等在车站上。

(10) ‘第三个妇人说，羊圈大了好养羊，七个孩子九个孩子难道不是一样养，蓬仙你怎么会舍得把她送人？

一方、“还”を用いると、“还”の持つ“仍旧”“照样”の意味が活性化され、

“还不是”構文に“仍旧”“照样”の意味の特徴を与えることになる。また、“难道”構文のように、聞き手に強く反駁するのではなく、話し手の主張を表すこととなる。下記のような聞き手に向かって第三者のことを言う文脈において、“难道”を使うのは相応しくない。(例(11)の「??」の意味は文の容認度が低いことを表している。)

(11) 女儿：妈，你叹什么气呀？

母亲：??我叹现在生活好了，可你哥哥和你嫂子难道不是一样吵嘴！

4 “还不是” 構文における “肯定 / 一定 / 当然” の意味的特徴

“还不是” 構文は推論を表す文脈に用いることができる。「当該命題については間違いなくこうだ。」と話し手が思う時に用いられ、“肯定 / 一定 / 当然” に置き換えられる。

(12) 我瞪了石岬一眼，又对小杨说，“别看了，没什么好看的，还不是（肯定是 / 一定是）咿哩哇啦那一套。”（王朔《浮出海面》）

(13) 那三个懂得什么呢！还不是（肯定是 / 一定是）有人从中调拨！

（茅盾《林家铺子》）

(14) “没那么严重！”秦帅北不服。父亲身经百战，仍然极爱整洁。龙连长，你对于打仗的知识，还不是（肯定是 / 一定是）从电影上看来的，并不比我知道得多！（毕淑敏《毕淑敏文选》）

例 (12) は、劇を見たい“小杨”に、話し手が“还不是咿哩哇啦那一套。”と言った。これは、話し手が「劇はつまらない。」と確信している時の発話である。まだ見ていない劇について断言をするということは、話し手の主観的な判断であり、話し手の“估计”（推測）を表している。例 (13) (14) も同じく話し手の推測を表し、“肯定是 / 一定是”に置き換えられる。また、話し手自身のことを指す場合は、“当然”の意味を表すことになる。

(15) “你老偷偷哭哇？”阿眉脸有点红，没说话。

“为什么？”

“还不是（当然是）为你。”她冷不丁又说，“昨天，我们疗养院的人给我算了一挂，说我不宜找五十里以外的人。”

（王朔《空中小姐》）

(16) 金秀：小妹，怎么这样对大人说话呀！

金枝：我也是大人，我都有儿子啦还不是（当然是）大人呐！我说的每句话都符合宪法。（赵大年《皇城根》）

さらに、結論を下す文脈においては、“说到底”“说来说去”という意味を表している。

(17) 金太太已经知道了他的用意，便笑道：“这很不算什么，哪一个富贵人家，能荣华一辈子？哪一个清寒人家，又会穷苦一辈子？天下的事，还不是在于人为吗？”（张恨水《金粉世家》）

(18) “老张，你向来顶热心演剧，怎样现在因为不情愿做林敦夫人，就宁

牺牲了上台的权利？还不是演剧，有什么要紧？”

“别的都干，就不做林敦夫人！她是恋爱了人又反悔，做了寡妇又再嫁！”（茅盾《虹》）

(19) “什么时候？——昨天夜里，或者就是今天罢。——我说不清。”

“怎么死的？”

“怎么死的？——还不是穷死的？”他淡然的回答，仍然没有抬头向我看，出去了。（鲁迅《祝福》）

例(17)の“还不是在于人为吗？”の発話は“说到底(说来说去)是在于人为”の意味を表している。例(18)の例は、“林敦夫人”の役を演じたくないのが理由で、“演剧”を拒否した“老张”に、“还不是演剧，有什么要紧？”と説得している。(結局、お芝居に過ぎないのだから、大丈夫だよ。)この文脈においても、「あくまでも芝居だよ」という意味を表している。例(19)も同じく、「結局貧しいから死んだのよ。」の結論を下す意味を表している。

このように、“还不是”構文において、結論を下す文脈では、「結局、…ではないか。」という意味として解釈することができる。

では、なぜ推論や結論を表す文脈に、“还不是”構文を用いるのか。これについては、当然、“还”を用いる理由を考えなければならない。結論的に言うと、“还”の“照旧”“返回”の意味が働いていると思われる。推論を表す文脈では、話し手の“估计”(見込み)があり、また話し手の見込みに反する想定(予期)もある。この“反估计”を経て出した推論の結論は、“估计”の通りの判断になる。「…の通り」の意味を表したのは“照旧”の意味を持つ“还”である。“说来说去”“说到底”は、「一連の話し手の見込みに反する想定を経て、はじめの見込みにもどった。」というニュアンスがある。つまり、下記のようなプロセスを経ていると考えられる。

話し手の“估计”→話し手の想定→話し手の“估计”通りの結論

このように、“仍旧”“照旧/照样”“返回”⁽⁴⁾といった副詞の“还”が持つ実質的な意味は、そのまま“还不是”構文の中でも同じ意味を持ち、“还不是”構文の意味の一部を担っていることが分かる。“还”を用いることによって、「見込み通り」「見込みのまま」のような意味を表すことになる。

5 “还不是”構文における“程度之高”の意味的特徴

副詞の“还”が程度を表すことができるという点については、すでに研究

されている⁽⁵⁾。「X比Y还AP」構文における“还”は程度が高いことを表す。例えば“她比我还高呢。”のように、形容詞の前に置かれることが多い。しかし、“还不是”構文においては、「N₁P+还不是+N₂P / VP」の文脈に現れ、「N₁」が「N₂P / VP」の属性を最も持つことを表している。また「N₁」は指示代名詞や人称代名詞によって担われるのが一般的である。更に、発音の際、「N₁」にストレスが置かれることが多い。

(20) 王小二：老爷爷，我不要！妈妈常说，帮助人是应该的，不为得礼物！

李八十：你妈妈说的对！可是，礼物要是一件宝贝，也不要吗？

王小二：也不要！我自己有宝贝！

李八十：你带着宝贝哪？叫我看看！

王小二：（从腰中掏出小板斧）看！这还不是宝贝吗？（耍斧）有它，上山能砍柴，豺狼虎豹不敢近前来！它们敢前进，嗷嗷嗷，一斧劈开它们的脑袋！（老舍《宝船》）

(21) 他转身面对小白人，一字一顿地说：“你是个雅人，是个羞于承认自己雅的因而是真雅的雅人！”

同志们掌声四起。

小白人也脸上放光，“我真是这样么？”

“真是。”于观含笑上来道：“你想呵，除了王婆谁还会自卖自夸？喊得最响的往往是心里最虚的。不叫的狗咬人。敢于承认自己俗那得需要多大的雅量呵——你还不是雅人么？”（王朔《你不是一个俗人》）

(22) 而且，说到底这还不是打仗！牺牲的不算，还有那么多冻伤的肢体，严重的需要截趾截肢……（毕淑敏《昆仑殇》）

話し手は「N₁」がもっとも典型的な「N₂P / VP」だと確信している。従って、排他的なニュアンスを帯びる場合もあれば（例(20)「これが宝物じゃなかったら何が宝物なの？」）、強調のニュアンスも感じられる（例(21)君こそ優雅な人だ！）。また、「N₂」は“宝贝”“雅人”といったプラスの評価性のある名詞であることが多い。事物を表すほとんどの名詞について評価することができると思われるが、一般的に見ると、評価しやすいものと、評価しにくいものがある。例えば、下記の例である。（例(23)の「？」の意味は普通の文脈では考えにくいことを表している。）

(23) ?这还不是花。 ?这还不是树。

ただし、「N₁」は必ずしもプラスの意味のあるものとは限らない。“这还不

是垃圾!” も成り立つ。

「 $N_1P + \text{还不是} + N_2P / VP$ 」構文に戻ると、「程度の高さ」また「これこそ…だ。」を表すことができる理由は、当然“还”の働きである。“还”が、「継続」を表すことができるのは知られている。「 $N_1P + \text{还不是} + N_2P / VP$ 」構文において、「 N_1 が典型的な N_2P / VP である」という話し手の主張に至るまでのプロセスを考えると、継続の意味を持つ“还”が働いていると思われる。

例(20)を見ると、“宝贝”と評価のできるものがいろいろあるが、“还不是宝贝”という否定命題を用いるということは、“宝贝”ではないものを排除していくプロセスである。その結果、目の前の“这个”が残る。「 N_1 」が典型的な「 N_2P / VP 」であるというニュアンスや程度が高いことを表すことができるのも、このようなプロセスを経たからだと思われる。例(21)において、話し手は長々と“雅人”と称することができる理由を述べている。それによって、“雅人”ではない要素を削っていく。その「否定作業」が続くにつれ、肯定の意味が浮かびあがるだけでなく、連続した「否定作業」の結果、最高の肯定に達したのである。

つまり、反語の意味を表す「 $N_1P + \text{还不是} + N_2P / VP$ 」構文には、否定疑問形式の「まだ…ない？」がベースとなっていると考えられる。下記の例(24)はまだ「肯定」に至っておらず、「疑い」の段階である。

(24) 他还不是教授？早就该是了呀！

(彼はまだ教授じゃないの？とっくになっているはずですよ。)

否定命題に対し、「疑い」が強ければ強いほど、肯定命題に変わる。その極点になるのは反語文である。例(16)を再度挙げる。

(16) 金秀：小妹，怎么这样对大人说话呀！

金枝：我也是大人，我都有儿子啦还不是大人呐！我说的每句话都符合宪法。(赵大年《皇城根》)

(16)の例を肯定命題で表すと、“我都有儿子了我当然是大人。”になる。つまり「まだ大人ではない」という「否定」に対する「疑い」が頂点に達したときに「肯定」に至る。

「 $N_1P + \text{还不是} + N_2P / VP$ 」における“还”は程度の高さを表すことについて、“难道+不是…吗?”構文と比べるとより明らかになる。

(25) 太阳的气息和香皂的气息，久久不动。这难道不是最幸福的时刻？他

的家！他的老婆！（池莉《烦恼人生》）

(25) ‘太阳的气息和香皂的气息，久久不动。这还不是最幸福的时刻？他的家！他的老婆！’

例 (25) の意味は “这就是最幸福的时刻” であり、例 (25) ’ の意味は “如果此时不是最幸福的时刻，那什么时候是最幸福的时刻！” である。

このように、「N₁P+还不是+N₂P / VP」には、“N₁不是N₂P / VP的话，那什么是N₂P / VP？”の含意があり、話し手の主張を強く表す言い方である。

「N₁不是N₂P / VP的话，那什么是N₂P / VP？」の発話が言語化される場合もある。

(26) 领导说：“说这话就不像个知识分子了嘛。”

我说：“您以为现在的人读个大学就是知识分子？”

“当然，读了大学还不是知识分子那什么是知识分子？”

（池莉《紫陌红尘》）

6 まとめ

本稿では、“还不是”構文における四つの意味的特徴を見た。結論として、“还”は“还不是”構文において、反語の“不是…(吗)？”の語気を強めるのではなく、“还”の実質的な意味が生きているため、意味面において貢献していると言える。

“不是…(吗)？”反語文は、話し手と聞き手における認識のギャップがあつて、話し手はそれを修正しようとする際に用いている。⁽⁶⁾しかし、“还不是”構文は、これまでに見てきたように、話し手の反駁より話し手の主張を表すことが多い。その違いをもたらしたのは言うまでもなく“还”である。

“还”の意味が生きているため、“不是…(吗)？”の反語文にはない意味的特徴—すなわち“出乎意料”の意味的特徴；“仍旧 / 照样 / 返回”の意味的特徴；“肯定”“当然”の意味的特徴；“程度之高”の意味的特徴を持っている。

使用コーパス：<http://www.google.com/> <http://www.ai-shu.net/>
<http://garden.2118.com.cn/goodbook/>

注

(1) 反予期の標識について呉 (2004) では、次のように述べている。

反预期标记具有下面两种属性:

(i) 它们的使用隐含了被断言的情形与特定语境里被预设, 预期的情形或者被认为是常规情形之间的一种对比。

(ii) 前者与后者相背离, 反预期标记的主要功能是将这个断言与所预设或预期的世界以及常规联系起来。(P224 から引用)

(2) 反予期のタイプについて、次のような三つの場合があると指摘されている。

(1) 与听话人的预期相反; (2) 与说话人自己的预期相反; (3) 与特定言语社会共享的预期相反。」の三つの場合である。詳しくは呉福祥 (2004) を参照されたい。

(3) 张平 (2003) 「副词“还”分部格式及语义的历时演化」を参照されたい。

(4) “返回”“仍旧/照旧”の意味的特徴について、多く研究されている。李宗江 (1999) は通時的視点から研究されている。

(5) 詳しくは陆俊明 1980 「“还”和“更”」、马真 1984 「关于表示程度浅的副词“还”」を参照されたい。

(6) 詳しくは曹泰和 (2000) を参照されたい。

参考文献:

相原 茂 (1992) 「汉语比较句の两种否定形式—“不比”型和“没有”型」
《语言教学与研究》第 3 期 北京语言文化大学出版社

袁毓林 (2005) 「论“连”字句的主观化表达功能—兼析几种相关的“反预期”和“解—反预期”的格式(待刊)」

陆俊明 (1980) 《“还”和“更”语言学论丛》第 6 辑 商务印书馆

马真 (1984) 「关于表程度浅的副词“还”」《中国语文》第 3 期

沈家煊 (2001) 「跟副词“还”有关的两个句式」《中国语文》第 6 期

李宗江 (1999) 《汉语常用词演变研究》汉语大词典出版社

吴福祥 (2004) 「试说“X”不比“Y·Z”的语用功能」《中国语文》第 3 期

张平 (2003) 「副词“还”分部格式及语义的历时演化」《株洲工学院学报》第 6 期

曹泰和 (2000) 「反語文の“不是…(吗)?”について—日本語と比較しながら—」
《中国語語学》247 号 日本中国語学会

杉村博文 (2004) 「否定情報の獲得と応用」《日本中国語学会 第 54 回全国大会 予稿集》日本中国語学会

森山卓郎 仁田義雄 工藤 浩 (2002) 『モダリティ』 岩波書店

[追伸] 本稿において出典の記されていない例文は著者の作例である。

(お茶の水女子大学大学院)